

# 少年センターだより

発行 日野町少年センター  
〒529-1602  
日野町河原一丁目1番地  
TEL/FAX 0748-53-1325  
<http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c>

## 子どもの不登校について考えてみませんか？

10月、文部科学省から「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が発表され、不登校の児童生徒は全国も滋賀県も過去最多であったことがわかりました。

不登校とは、何らかの心理的・情緒的・身体的あるいは社会的要因・背景により、子どもが登校しない、あるいはしたくともできない状況にあること（病気や経済的理由は除く）をいいます。

不登校の原因・理由は、1つとは限らずさまざまなことがらが絡んでいる場合が多いのですが、文部科学省の調査によると、「本人の無気力・不安」「生活リズムの乱れ」「友人関係をめぐる問題」「親子の関わり方」「学業不振」などがあがっています。

日野町においても、近年不登校は大きな課題となっており、それぞれのケースにあった対応の取り組みが始められています。

全国、滋賀県の不登校の状況

年度	小学校		中学校	
	滋賀県	全国	滋賀県	全国
平成30年度	617人	44,471人	1,316人	114,379人
	0.76%	0.70%	3.37%	3.81%
令和元年度	734人	52,905人	1,335人	122,519人
	0.90%	0.84%	3.43%	4.12%
令和2年度	851人	62,862人	1,358人	127,671人
	1.05%	1.01%	3.49%	4.30%

上段：不登校者数 下段：不登校率

## 不登校への対応に当たって ～文部科学省の資料より～

### ①将来の社会的自立に向けた支援の視点

不登校の解決の目標は、子ども達の「社会的自立」です。不登校は、「心の問題」のみならず「進路の問題」との観点に立ち、学習支援や情報提供等を積極的に行うことが必要です。

### ②連携ネットワークによる支援

学校、地域、家庭で密接な連携をとり、多様な問題を抱えた一人一人の子どもに応じたきめ細やかな支援を適切に見極め、行うことが重要です。また、学校や教育行政機関と民間施設やNPO等との積極的な連携・協力が必要です。

### ③将来の社会的自立のための学校教育の意義・役割

学校は、社会性の育成や学力を育てる学習支援の場として、重要な意義・役割があります。学校教育充実のための取組と学校生活が原因となっている問題の解消に向けて努力が必要です。

### ④働きかけることや関わりを持つことの重要性

主体的な社会的自立や学校復帰に向けて、周囲の者が状況をよく見極め、適切な働きかけをすることが重要です。子どもの状況を理解しようとすることもなく、必要としている支援を行わず、ただ待つだけでは状況の改善にはなりません。

### ⑤保護者の役割と家庭への支援

保護者がその役割を果たすことができるよう、時機を失することなく子どもや家庭へ適切な働きかけを行うなど、学校と家庭、関係機関の連携は不可欠です。

## 保護者や地域とともに、かけがえのない 日野の宝「ひのっ子」を育てる学校に

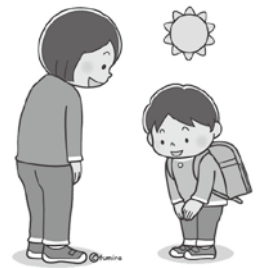
日野小学校 校長 山添 美実

緊急事態宣言下の8月末、手洗いや消毒の徹底、マスク着用・黙食・三密回避、教職員による昇降口での健康観察票確認、教職員による給食配膳やトイレ・手洗い場の清掃および消毒など感染症対策を強化し緊張感いっぱいの2学期を迎えました。感染レベルを注視し、学校生活を日常に戻そうと日課や生活のルールを徐々に変更し、子ども達と教職員が一丸となって第5波を乗り越えました。これができましたのも子どもたちの心身の安定を保っていただいた保護者の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

私は、先の見えない時代であるからこそ、日野小の最も大切にしている「安心と安全」がベースとなった保護者・地域とともに子どもたちを育てる学校づくりの重要性を痛感しました。短期間で練習に取り組んだ10月の体育発表会では、多くの方に応援いただき、どの子どももまっすぐに頑張り、笑顔がきらきら輝いていました。

日々、子どもたちは色々な人間関係の中で生活をしています。親子や教師と児童生徒、上級生という「縦の関係」、同じ学年や同じ学級、習い事での友達という「横の関係」、PTAの皆様をはじめ、地域の方々という「斜めの関係」です。特に、地域の方からの「おはよう」や「おかえり」や「元気か。よう頑張っているね」等々のお声かけにより、子どもたちは見守られ、「自分は大切にされている」という自尊感情を高めることができます。大人からの優しくあたたかな声かけや愛情のある厳しさによって、心が安心した子どもは、他者を大事にでき友達につらく悲しい言葉も発しないと思います。

今後も、PTAの皆様をはじめ、地域の皆様方には、かけがえのない「日野の宝」である「ひのっ子」のために、お声かけや学校づくりへの参画をよろしくお願ひします。



### 子育て小窓

子どもが色々な事情で学校に行けなくなると、原因は何か、自分の育て方の問題なのか、将来はどうなるのだろうなど色々な不安や焦りと自責感で親自身も苦しくなります。しかし『子どもが外で困って家に逃げ込むのは、基本的に家が安全な場所だと認識しているからです。学校に行けないことで叱られたり、親に心配をかけたりするかもしれないけれど、それでも基本的な信頼関係は損なわれないという確信があるから、家にあるのです。本当に見捨てられるかもという危機感を持っている子どもは不登校ができない』とされています。ですから親は落ち着いて「子どもは何に困って、傷ついて、不安になっているのだろう」と考えてみることで、そして子どもが「元気に休めているか」を考えることが休み始めた当初は必要だと言われています。すると子どもが困っていたことをポツリポツリと語ってくるようになります。まずは親が自分を責めすぎないことがスタートです。

(日野町子育て・教育相談センター A・S)

# 薬物乱用はダメ、ゼツタイ！

## ～町内の文化祭で少年補導委員が薬物乱用防止の啓発物を展示～

日野町少年補導委員会では、各公民館やわたむきホール虹で11月に開催された文化祭で、少年補導委員会が作成した薬物乱用防止の啓発ポスター展示を行いました。令和2年には大麻による検挙人員は5,260人と過去最多になりましたが、そのうち青少年が半数以上を占めていました。

近年SNSの普及により薬物はネット取引で簡単に入手することができます。県内でも女子高校生が大麻を所持して逮捕されたり、日野町でも大麻が栽培されていたことがありました。

例年『氏郷まつり“楽市楽座”』で啓発活動等を行っていましたが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できず、昨年同様代替の取組として行いました。

また図書館でも、薬物乱用防止や青少年に関する本の展示コーナーを設けていただきました。



**大麻(マリファナ)は絶対使用しない!!**

○令和2年には過去最多となる5,260人となり、そのうち半数以上となる3,511人が青少年であり、青少年の大麻の乱用の確率が拡大しています。

○幻覚成分を濃縮させた「大麻ワックス」や、麻を含んだ食品(クッキー、チョコレート)などの販売も相次いでいます。

大麻(マリファナ)の検挙人員の推移(過去5年間)

大麻にまつる誤った情報に注意してください!

心身は安全、無害だ! 全て誤りです!

- ・タバコよりも安全
- ・世界で大麻は合法
- ・大麻、マリファナ、ヘンプは同じ!

フェイクニュースに注意!

危険! DANGER!

**身近に忍び寄る薬物!!**

薬物は身近なところにもあります。大麻草やケシの花は栽培が禁止されています。見かけたら通報を!

ケシの花 大麻草

日野町でもこんなことが! →

県内の若者でもこんなことが!

1名逮捕の女子高校生逮捕

大津市に在住する京都府内の通信制高校(3年生)に通う女子学生が、大麻製法講座(県庁の研修で令和2年3月2日大津警察署に受講された。女子学生は21歳)に入った際大麻を所持していた。女子学生の所持が「他の参加者から21歳に入った事を知った。違法なものかもしれないと警察に相談し、事件が発覚した。

民間が「大麻製法工場」

日野町山内の民家で大麻を栽培したとして東近江警察署は平成29年11月29日大津警察署(高尾)の捜いで、パトロール4人が捜索し、2園建て民家で大麻草を0.5kgを栽培していたもので、県内では過去15年で最大の押収量となった。ほかにも大麻と見られるものも見つかったり警察が「大麻製法工場」となっていた。

**ネットで堂々に行われる「薬物取引」**

良質なアイスがあるー。スマートフォンのアプリでやりとりした相手。そんな言葉で「商品」を紹介した。安く売りたいザートではない。覚悟することです。SNSでは、こうした違法薬物の取引があふれています。

「アイス配達します」「野菜手押ししてます」「野菜、紙、リキッドあります」などのツイートは**要注意**です。

## 少年補導功労者表彰を受賞!

日野町少年補導委員の池内美代子さん(上野田)と富田知津子さん(小谷)が、長年にわたって地域に密着した少年補導活動等を推進され、少年の非行防止と健全育成に尽力された功績が認められ、少年補導功労者として、滋賀県警察本部長と滋賀県少年補導員会連絡協議会長から表彰されました。

本年も新型コロナウイルス感染症により『「なくそう犯罪滋賀」安全なまちづくり大会』が中止となったため、10月25日に東近江警察署で筒居署長から伝達されました。

長年の地道な活動に感謝しますとともに今後もますます活躍いただきますようお願いいたします。





## 不登校で困ったら、こんな機関・施設も

### ステップ（適応指導教室）

学校に行きたくても行きにくいと感じている児童生徒の皆さんが、学校以外の場所で学習したり体験活動をしたりして、自立への力を少しずつ育てていく場所です。

対象は小学校4年生以上中学校3年生までで、学習内容や時間、日や回数、内容等は相談して決めます。場所は日野町勤労福祉会館2階にあります。

問合せ先 日野町少年センター  
☎53-1325

### 青年の居場所ピース

ひきこもりや不登校など生きづらさを抱える青年たちが、支援する側とされる側のいる場ではなく、一緒に過ごす場でありたいという思いで開設しました。

ボードゲームや勉強など、過ごし方を自分で決めてそれぞれのペースで過ごします。7月には、働く練習のできるパンカフェがオープンしました。場所は日野駅前の3階建ての白い建物です。

問合せ先 NPO法人スーブル  
☎26-0599

### ホッとスペースのびのび

「学校は苦手。でも、外に出るのは嫌いじゃない。誰かと話す時間もいいかな。家以外に昼間に堂々といてもいい場所があったらいいのに……。」

そんな人たちが安心していただける居場所です。

月2回、日野町立図書館で開催しています。

問合せ先 役場福祉保健課

☎52-6573



### つぶやき

私は地域で毎朝、子ども達の登校の見守り活動を続けています。

1日のスタートを元気に「おはよう」とあいさつしてくれる子ども達がほとんどですが、中には少し元気がなかったり、休んだりしている子どももあり、「今日はどうしたのかな？」と気になります。毎朝子どもを見ているとちょっとした変化に気づくものです。

2年間続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども達の心の痛みはたいへん大きいと思われまます。長い休校期間や授業時間の短縮による学力の心配、修学旅行や運動会等の楽しい思い出作りが困難になるなどにより、生活のリズムが乱れたり無気力状態となったりして、その結果不登校に陥る子どももあると聞きます。

このような時代だからこそ、子ども達の健全育成には、家庭・学校とともに、「地域の人たちの関わり」が大切だと思います。

「おはよう」「おかえり」の地域の人たちの声かけにより、子ども達も、自分のことを大切に思ってくれている……と感じるはずです。

『コロナ世代』と呼ばせないためにも、地域の方々の「愛の声かけ」が必要では無いかと感じています。

日野町少年補導委員 竹村 一男

## ひとりで悩まないでまずは相談を！

○相談時間：月～金曜 9：00～16：30

○電話相談 ○面接相談

\*お気軽にお越しく下さい。（秘密は厳守します）

○場所：日野町少年センター（日野町勤労福祉会館2階）

電話 0748-53-1325 E-mail [hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp](mailto:hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp)



メールアドレス  
QRコード